

編集後記

11号をおとどけします。今号には2008年12月に開催しました、「にんぷろ」科挙班との合同研究集会での、党宝海さんの報告を掲載することができました。力作をお寄せいただき感謝しております。日本語訳についても、近いうちに別の形で刊行される予定となっております。そして、櫻井智美さんの調査報告、石刻の現存状況、所在地については、現地に行かないと情報を得られないことが多く、こうした報告は、このNEWSLETTERの柱であると考えております。さて、この雑誌は科研のNEWSLETTERではありますが、誌面は、可能な限り公開していきたいと考えております。科研メンバー以外の方でも、掲載のご希望があれば、ご相談ください。なお、原則として執筆者からいただいたものをそのまま印刷しておりますので、若干の体裁の不統一はお見逃してください。科研の研究代表は村岡倫さんですが、編集は従来のまま森田がおこなっておりますので、本誌についてのご連絡は森田までお願いいたします。

(もりた けんじ)

13、14世紀東アジア史料通信 第11号

2009年10月発行

編集 森田憲司

発行者

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）

「中国社会へのモンゴル帝国による重層的支配の研究
元朝史料学の新展開をめざして」研究グループ

(代表 村岡倫)

連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町 1500

奈良大学文学部史学科 森田研究室

Newsletter on Historical Documents
in the 13-14th century East Asia

No.11

October 2009

Edited by
KENJI MORITA

Published by
Research Project on "Chinese Society under the Multi-Rule of the Mongol Empire"
Granted in Aid for Scientific Research of JSPS, Basic Research B

Kenji Morita, Department of History, Faculty of Letters, NARA UNIVERSITY, 1500 Misasagi, Nara
JAPAN